



Think different. (第46回卒業式 校長式辞より)

校長 横枕 耕史

さて、現代を生きる私たちに欠かせないものと言ったら何でしょうか。それはスマートフォンと言えます。電車に乗り、見渡すとほとんどの人がスマートフォンの画面を注視しています。デジタル技術の進化に伴い、日常の当たり前の風景になっています。日本のスマートフォンの歴史を遡ると、今から十五年前、卒業生の皆さんたちがちょうど生まれた年、2008年7月11日に日本で初めてiPhoneが発売され、日本中でスマートフォンが使われるようになりました。今日は、卒業する皆さんに、このiPhoneを作ったApple社の創業者スティーブ・ジョブスの話を紹介します。

1996年、業績不振に瀕していたApple社の経営陣は、首にした創業者のスティーブ・ジョブスを再度呼び戻しました。ジョブスは、「Think different.」という「固定概念に縛られず、物の見方を変え、新たな発想で物事を考えていこう。」というキャンペーンを打ち出しました。実際には、当時主流であったベージュ色で箱型の配線ケーブルだらけになるパソコン市場に、丸みを帯びた形状で中身が透けて見えるボンダイブルーのiMacを世に送り出しました。消費者の固定概念を変え、新しい購買層を増やし、Apple社を復活させました。そして、次から次に新しい発想の新製品を開発し、iPhoneでさらに世の中を変えたのです。

このThink different.は、単なるスローガンではなく、未来に生きる皆さんへの指針ともいえます。皆さんがこれから生きていく未来は、不安定で、不確実で、複雑で、曖昧なVUCAの

時代と言われ、未来がどうなるのかははっきりわかりません。しかし、そこには未知の可能性やチャンスが広がっています。

昔から受け継がれてきた型や伝統を守り継承することも大切ですが、過去の経験や今ある社会の枠組みに縛られることなく、「異なる」ことを恐れず、新しい発想でチャレンジしていくことがあるでしょう。その時こそ、「Think different.」と**自分が世界を変えられる**と本気で信じて行動してください。常に新しい異なる視点から物事を見つめ、創造的な解決策を見出し、「**失敗は成功のもと**」とポジティブな思考でチャレンジしていくことが、皆さんの可能性を広げることに繋がるはずです。

そこで、皆さんに最も大切にしてほしいものは「**時間**」です。時間は、お金がかからず、誰もが平等に持つことができ、最も貴重なものといえます。未来に生きる皆さんには、**人生の時間は無限にあるわけではない**ことを自覚し、限られた貴重な時間を自分に投資し、自らを豊かにする学びや経験をできるだけ数多くしてほしいと思います。まだ失うものが少ない今の若いうちにこそ、自分が好きで夢中になっていることに全力を注いでください。今の自分にはあまり必要とは思っていない勉強であっても、将来役立つ起点の一つになるかもしれないとポジティブに捉え行動してみてください。何事も「**やらない後悔より、やる後悔をする**」くらいの気持ちで「**頑張るときはいつも今**」と自分を鼓舞し、時間を大切に、自分磨きの地道な努力を続けていってください。